

ひと・とち・みらい・は—もに—



土地家屋調査士

会報

ながさき

Kaihou Nagasaki/2026.3

第 **81** 号

(令和 8 年 3 月発行)



長崎県土地家屋調査士会

土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

表紙写真の説明

出津教会堂（しつきょうかいどう）

出津教会堂（しつきょうかいどう）は、長崎県長崎市西出津町にあるキリスト教の教会堂（聖堂）である。国の重要文化財に指定されており、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する「外海の出津集落」に包括される教会である。正式名称はカトリック出津教会で、出津教会とも呼ばれている。

出津地区において主任司祭を務めていたマルク・マリー・ド・ロ神父の設計により建設され、その後信徒数の増加等により2度の増築を経て1909年にほぼ現在の姿が完成した。

教会堂は角力灘（五島灘）に面する風の強い当地の気象に対応して、レンガ造瓦葺き平屋建て（外壁は白漆喰を使用）の低い屋根を持つ建物となっている。

尾根上を整地した敷地に、ほぼ西を正面として建つ。奥行36.3メートル、間口10.9メートル、長方形平面の三廊式教会堂で、屋根は切妻造平入り、棧瓦葺きとする。煉瓦造であるが、外壁や内部天井は漆喰塗仕上げとする。西側正面入口は中央に大アーチ、両脇に小アーチの開口部を設け、要所に安山岩の切石を貼る。正面入口屋根上には身廊と同じ幅の、方形平面の鐘楼が立ち上がり、反対側の東面屋根上にも小塔がある。鐘楼の頂上には聖母マリア像、小塔の頂上には十字架をそれぞれ飾る。側面には切妻屋根の入口が各2か所突出する。

目 次

○会長挨拶	2	会長 山口 賢 一
○令和7年度九州ブロック協議会 会長会議 各部担当者会同	3	広報部長 本 田 将 之
○鹿町工業高等学校出前授業	6	佐世保支部 前 川 賢 一
○鹿町工業高等学校測量部への測量指導	8	佐世保支部 田 口 博 之
○第25回高校生ものづくりコンテスト 全国大会に出場して	9	鹿町工業高等学校 土木技術科 豊 村 洋 文
○いさはや灯りファンタジア灯明地上絵	11	広報部長 本 田 将 之
○令和7年度第2回全体研修会	15	研修部長 稲 益 哲 也
○北陽小学校出前授業	17	長崎支部 松 尾 剛
○北陽小学校出前授業 感謝状	19	北陽小学校6年生一同
○長崎新聞2026年新年号トップインタビュー	27	会長 山 口 賢 一
○長崎工業高等学校出前授業	28	長崎支部 松 尾 剛
○金融機関への研修会	30	広報部 井 村 卓 司
○土地家屋調査士会に入会して	32	佐世保支部 柳 武 将 光
	33	佐世保支部 片 渕 啓 二
○編集後記	34	広報部次長 石 田 浩 太 郎



会 長 挨拶

会長 山口 賢 一

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、日々それぞれの地域において、土地家屋調査士としての使命を果たされておられることに、深く敬意を表する次第です。

さて、所有者不明土地等の発生予防と利用の円滑化の両側面から民事基本法制が見直され、「相続登記の申請義務化」の実施から2年を迎えようとしています。相続登記の手続きには、その前提となる表示の登記の正確性が必要不可欠であり、土地家屋調査士業務に対する社会的認知と理解を深める機会となりました。

また、本年4月1日から「住所等の変更登記の義務化」が施行されます。私たちはこれらの問題に遭遇する機会が多いことから、法律の趣旨を理解し社会の期待に応える資格者であり続けられるよう、そして依頼者や関係者に対し正確な説明ができるよう、研鑽に努めなければなりません。

今年度もご承認いただきました事業計画に基づき、全役員・全部員で取り組んでまいりました。本誌への掲載は事業の一端ではありますが、外部に向けた土地家屋調査士制度の発信を継続しつつ、新たな教育機

関での出前授業を行いました。このような事業につきましては、実施する地域の方々のご協力が不可欠です。本会事業にご協力いただいた皆様に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

本会同様、全国でも「土地家屋調査士」を知っていただく広報活動が実施されています。その活動の成果もあり、長年、土地家屋調査士受験者数は減少していたところ、ここ数年は増加傾向に転じています。広報活動は成果が感じられるまで時間がかかりますが、「土地家屋調査士」が魅力ある国家資格者との発信を行い続け、種を蒔き続けたことが、少しずつ芽を出し始めたと確信しています。今後も日調連や全国の単位会との情報共有を続け、より効果的で受講者に興味を持っていただける活動を行いたいと考えております。

令和7年度も多くの出来事がありました。中でも印象的で、個人的にも嬉しかったことは、V・ファーレン長崎の8年ぶりJ1昇格です。令和8年度は、V・ファーレン長崎のように本会も次のステップへと高みを目指してまいります。新年度も、引き続きよろしく願いいたします。



令和7年度九州ブロック協議会 会長会議 各部担当者会同

広報部長 本田 将之



開催日：令和7年10月25日(土)、26日(日)
の2日間

開催場所：鹿児島県鹿児島市与次郎1丁目8-10
鹿児島サンロイヤルホテル

参加者：会長 山口 賢一
副会長兼総務部長 峰 昇平
副会長兼業務部長 初柴 穰
財務部長 秋寄喜多郎
研修部長 稲益 哲也
広報部長 本田 将之
社会事業部長兼センター長 高原 瑞
広報部員 大塚 進作
社会事業部次長 新北 達也
社会事業部員 出口 康智

令和7年度の九州ブロック協議会の会長会議と各部担当者会同が行われました。今年度は、鹿児島会が当番会でしたので、鹿児島市内で開催となり、1日目は13:00から17:00まで、2日目は9:00から12:00まで行われました。部門は総務・財務部合同、業務・研修部合同、広報部、社会事業部の4部門で行われ、社会事業部の座長を長崎会の高原瑞社会事業部長が務めました。各県から提出された議案について協議・情報交換が行われました。

各部協議の詳細な内容につきましては、ホームページ会員専用に掲載しています。

総務・財務部会



社会事業部



業務・研修部会



1日目の会長会議・各部担当者会同の終了後に、同会場にて懇親会が開かれました。各県の参加者が壇上にあがり自己紹介が行われ大変盛り上がりました。また、各県参加者と親睦を深める良い機会となりました。

懇親会の様子



広報部会



2日目の会長会議・各部担当者会同の終了後に全体会議が行われました。

はじめに九州ブロック協議会村山会長が挨拶をされ、つづいて日本土地家屋調査士会連合会岡田会長が挨拶をされました。

その後、各部の座長より報告が行われ、社会事業部の座長を務めた長崎会の高原瑞社会事業部長も報告を行いました。



つづいて、連合会の社会事業部の鮫島理事・三宮理事と研修部の松村常任理事より報告事項がありました。最後に、次回の当番会である沖縄会の金城会長より挨拶があり、令和7年度九州ブロック協議会 会長会議 各部担当者会同が終了いたしました。



鹿町工業高等学校出前授業

佐世保支部 前川 賢 一

事業名：鹿町工業高等学校への出前授業

日 時：令和7年11月13日(木)

午前10時55分から午後3時20分

場 所：鹿町工業高等学校敷地内

出席者：前川賢一、金子敬史、田口博之、
杉山和宏、竹永智彦、井村卓司、
竹崎（大西土地家屋調査士事務所補助者）、
大瀬（土地家屋調査士法人TST補助者）、
永石（小川土地家屋調査士事務所補助者）

鹿町工業高等学校土木技術科2年生（22名）を対象に出前授業を実施しました。講師として、佐世保支部から支部役員3名、杉山会員、竹永智彦会員、竹崎さん（大西土地家屋調査士事務所補助者）、大瀬さん（土地家屋調査士法人TST補助者）、永石さん（小川土地家屋調査士事務所補助者）、本会広報部より井村卓司会員の計9名が参加しました。出前授業は3時限目から6時限目を使って行われ、その内容は以下のとおりです。

◎ 3時限目(50分) . . .

座学最初の講義は、「土地家屋調査士」とはどのような資格なのか、8土業の国家資格と比較しながら、その業務内容や試験内容について説明するところからスタートしました。その後、土地家屋調査士と測量

士の違い、実際の地券や登記簿を見てもらい、初めて土地家屋調査士を知った生徒にも興味を持ってもらえるように話をしました。その後、次の授業内容となる外業について、具体的な内容説明を行いました。

今年度は雨天時でも対応できるように外業実習を体育館で行えるよう大幅に見直しをし、鹿町工業高等学校の校章を描くため100点近くを復元することにしました。

事前に30点程度を講師陣にて復元を行い、22名の生徒に5班に分かれてもらい、各班15点ずつの復元できるよう準備を行いました。



◎ 4～5 時限目 (各50分計100分) . . .

体育館には、あらかじめ当支部役員にて器械点、後視点を設置しており、5 班に分かれ、後視点と筆界点との夾角、器械点から筆界点までの距離を記載した引照点表を基づき復元作業を行ってもらいました。

生徒たちは最初こそ慎重な作業ぶりでしたが、時間の経過とともに内容を理解しコツを掴んだことで、スムーズな作業が行えるようになりました。この作業を通じて、生徒たちは測量を楽しんで学べたのではないかと感じました。



◎ 6 時限目 (50分)

初めての試みということもあり、時間内に外業実習が完了出来ずに、6 時限目の一部を利用した。しかし、無事、鹿町工業高等学校の校章を完成することが出来、生徒たちも楽しく学べたと思います。この後は、

現在、土地家屋調査士事務所で働く鹿町工業OBや補助者、土地家屋調査士から、土地家屋調査士事務所に入ったきっかけや就職活動の際のアドバイス、実際社会に出て思うことなど、後輩に対しメッセージを送ってもらいました。鹿町工業を卒業し、実際に働く先輩の話は、就職活動を控える生徒たちにとって非常に参考になったものと思います。

また、私たちが聞いていても、講師として話をする補助者や土地家屋調査士の話は、大変興味深く勉強になるものであったと思います。

この出前授業を通じ、生徒たちがいろいろなことに視野を広げ、その中で「土地家屋調査士」という資格に興味をもち、この資格取得を目指してもらえるきっかけになればと思います。





鹿町工業高等学校測量部への測量指導

佐世保支部 田口博之

事業名：鹿町工業高等学校測量部測量指導
(全国大会に向けて)

日 時：令和7年10月21日

午後3時50分から午後4時50分

場 所：鹿町工業高等学校敷地内

出席者：前川賢一、金子敬史、田口博之

来月、高知県で開催される、『高校生ものづくりコンテスト全国大会』に向け鹿町工業高等学校からの要請により測量部へ測量指導を支部役員3名で実施しました。

全国大会に出場する測量部3名へ指導を行いました。3名の生徒の観測作業は迅速かつ正確で、これ以上、指導する余地のないほどでした。

最後に前川支部長より本番は緊張するかもしれませんが、いつも通り落ち着いて臨めば必ずと結果はついてきます、体調に気を付けて頑張ってきてくださいと激励し、長崎県土地家屋調査士会からの全国大会出場の御祝金を渡し指導を終えました。



第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会に出場して

鹿町工業高等学校 土木技術科 豊村洋文

11月8日から9日に高知県立高知工業高等学校で開催された、第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会測量部門に出場しました。競技は、全国9ブロックの代表9チームに開催地から1チームを加えた10チームで実施されました。測量部門の課題は、1チーム3名、制限時間30分（20分以内で減点なし）で、土のグラウンドに設定された、測線長150メートルの5角形をトータルステーションで水平距離と水平角を観測します。その後室内で、制限時間20分（10分以内で減点なし）で計算書を作成し、完成までの時間と誤差の大きさを勝敗が決まります。

全国大会の予選となる県大会は、大村工業高等学校を会場に、大村工・佐世保工・鹿町工より各3校3チームずつの参加で実施されました。全国大会に出場したメンバーは、今年の大会も同じ3人で出場しましたが、同校の先輩に破れ4位に終わりました。その悔しさをバネに、放課後練習のみならず、早朝練習も行うことで基礎基本を徹底してきました。その甲斐あってか、本番では緊張することなく普段の練習のように作業をすることができました。その結果、本校は2年連続の優勝となり、九州大会へ駒を進めることができました。

九州大会は、佐賀県立唐津青翔高等学校

を会場に、各県代表8チームで実施されました。本校チームは抽選の結果、後半に外業実施となりました。外業では制限時間内に終了することができないチームもありましたが、本校チームは設定タイム通り制限時間内に終了しました。内業では、8チームが一斉にスタートし、制限時間内に終わることができないチームもありました。生徒たちは、緊張していましたが練習どおりに取り組むことができ、4年ぶりに最優秀賞を受賞することができました。

こうして迎えた全国大会は、当日の朝から大雨で、「最後の大会は晴天時での課題で決着をつけたい」という3人の願いも通じず、全国大会史上初の雨天時の課題となりました。10チームが一斉にスタートし、制限時間内に終わることができないチームが多数あった中、本校チームは2人が10分以内に終了することができましたが、1人が10分を越えてしまいました。3人のトータルタイムは一番早く終了することができましたが、若干の計算ミスもあり、本来の力を発揮することができず、全国大会という雰囲気にも吞まれ、惜しくも4位でした。

このような成績を残すことができたのは、技術面の鍛錬はもちろん、精神面の鍛錬のおかげだと思います。本校は土木技術部で、ものづくりコンテストに取り組んでいます。

大会前には、生徒たち自ら早朝練習に取り組
組み、器械の据え付け、角度の測定、距離
の測定と記帳の反復練習を行いました。ま
た、プリズムの気泡合わせ、土地家屋調査
士の方々による指導助言、測定機器の点検
調整等に重きを置きました。内業は、数値
の記録、計算スピードなど生徒たちで試行
錯誤しながら、練習に取り組みました。

生徒たちは4月から就職しますが、就職
先でも、部活動で身につけた測量技術や精
神力を、自信を持って生かしてほしいと思
います。

また、毎年大会前には、土地家屋調査士
の皆様方に技術指導をいただき深く感
謝いたします。





いさはや灯りファンタジア 灯明地上絵

広報部長 本田 将之



諫早市で毎年開催されている「いさはや灯りファンタジア」の灯明地上絵の復元作業に諫早支部が参加してきましたので報告します。この灯明地上絵は2010年から開催されていますが、諫早支部は2019年から参加し今年で6度目となります。これまでに、ローマ宮殿・新幹線・大国主大神・津山城・川まつり・龍の復元作業を行ってきました。今年、戦後80年の年であり、また、ながさきピース文化祭が開催されているということで平和をテーマにしたデザインとなりました。



座標付けの作業を諫早支部 富永健之介 会員が担当する。

【作業概要】

復元日：令和7年11月29日(土)

復元時間：9時から10時半まで

復元場所：諫早市役所前の中央交流広場

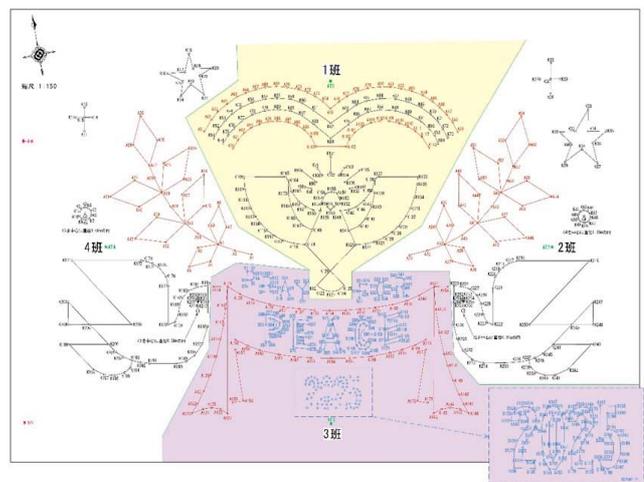
参加者：諫早支部会員17名

諫早市職員8名

班編成：1班5～6名×4班

復元点数：700点弱

復元基図：平和をテーマにしたデザイン



【復元作業】

諫早支部会員が中心となり諫早市職員の皆様と4班にわかれ復元を行います。復元点数がとても多く立ったり座ったりの動作が続き足腰にくるため、諫早市職員の皆様が手伝ってくださるのは大変助かります。



1班

はじめのころは、測距測角をトータルステーションで行っていましたが、いまは測角だけをトータルステーションで行い、測距はテープで行い時間もかなり短縮されました。今回は3時間を予定していましたが、半分の時間で完了しました。



2班



3班



4班



復元した点同士を灯明の色に合わせて白・赤・黄色のテープでつなげる



復元作業に参加した諫早支部会員と諫早市職員の皆様

【灯明をならべ明かりをつける】

14時からご家族・友人・グループなどた

くさんの人たちがテープの色に合わせて灯明をならべ明かりをつけます。





灯明紙袋 重しと防火になる砂

【一般開放された諫早市役所9階観覧場から】



点灯前



点灯後



令和7年度 第2回全体研修会

研修部長 稲 益 哲 也

日 時：令和7年12月2日(火曜日)
午前11時～午後4時
場 所：アルカディア大村コンベンションホール

◆研修内容

(1) 講義 1

「各部からの九州ブロック協議会報告」

令和7年10月25日及び26日に開催された九州ブロック協議会において、各県会との間で多数の議案について意見交換が行われたことから、その内容について長崎県土地家屋調査士会各部長より報告が行われた。

協議会では、九州の各県会における取り組み状況や課題等について活発な意見交換がなされ、本会としても参考となる情報や事例が共有された。各部からの報告を通じて、協議会の内容や他県会の取り組みについて理解を深める機会となった。

(2) 講義 2

「ドローン・3Dスキャナを使用した 調査士業務の活用」

最新の測量機器であるドローン及び3Dスキャナを活用した土地家屋調査士業務について長崎会研修部の越智一仁次長により講義が行われた。

講義では、自身の実際の業務における活用事例を紹介しながら、測量や調査におけ

る具体的な活用方法について説明がなされ、業務の効率化や測量精度の向上につながる技術について理解を深めることができた。

会員にとって、今後の業務に役立てることができる有益な内容であった。

(3) 講義 3

「筆界特定申請制度、表題部所有者不明 土地解消作業の概要」

筆界特定申請制度及び表題部所有者不明土地解消作業の概要について、長崎地方法務局総括登記専門官の森川宗弘様より講義が行われた。

本講義では、筆界特定調査委員のみならず、これまで筆界特定申請事件に関与したことのない会員も対象として、制度の概要や手続の流れ、実務上の留意点等について説明がなされた。

これにより、制度に関する理解を深めるとともに、今後の業務に必要な知識の習得につながる研修となった。

◆まとめ

本研修会では、九州ブロック協議会の報告による情報共有に加え、最新測量技術の活用及び筆界特定制度に関する知識の習得など、多岐にわたる内容の講義が行われた。

これらの研修を通じて、各会員の業務能

力の向上及び制度理解の深化が図られたこと
とであり今後もさまざまな研修を取り入れ
たいと思う。

【 令和7年度 第2回全体研修会開催状況 】

< 会長挨拶 >



< 講義1 >



< 講義2 >



< 講義3 >





北陽小学校出前授業

長崎支部 松尾 剛

日 時：令和7年12月8日(月)

11:00~12:00

場 所：長崎市立北陽小学校

担 当：長崎県土地家屋調査士会 長崎支部

司会・進行：担任 初柴真紀先生

講 師：松尾 剛（長崎支部長）、
森 直明（長崎支部会計）、
大塚 進作（広報部部員）

令和7年12月8日(月)に長崎市立北陽小学校にて6年生を対象に長崎支部による出前授業が実施されました。以下、ご報告いたします。

① 講師紹介(担任の初柴真紀先生より)と自己紹介

長崎支部より松尾剛会員、森直明会員、広報部より大塚進作会員の自己紹介。



② 測量の今昔

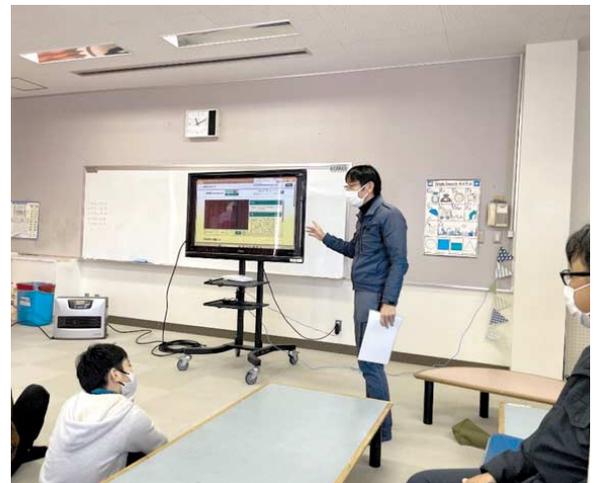
③ 測量調査のはじまり

スライド、伊能図を使用し、伊能忠敬が江戸時代当時に実施していた測量法などの説明がありました。

つぎに豊臣秀吉の太閤検地による土地と年貢の関係、明治時代の地租改正による測量調査の講義がありました。

④ 現代の土地家屋調査士の一日の仕事

日本土地家屋調査士連合会が作成した土地家屋調査士についてのアニメーションを使用し、松尾剛会員、森直明会員による土地家屋調査士の仕事についての講義をしました。測量をしている人や境界杭を見たことがあるかなど、小学生に質問し、見たことがある児童が多数を占め、興味をもって聞いてくれました。





⑤ 測量体験

松尾剛会員、森直明会員によるトータルステーションを使用した測量体験を実施しました。

待機時間は土地家屋調査士の漫画冊子を読んでもいただきました。



⑥ 生徒による質問

講義を終えて生徒による質問がありました。

なぜ土地家屋調査士を目指したのか？

土地家屋調査士の仕事で大変なことはどんなことか？

などの質問に松尾剛会員、森直明会員が回答しました。

⑦ 講義まとめ

担任の初柴真紀先生により講義のまとめがあり、児童の皆さんから感謝の言葉をいただきました。

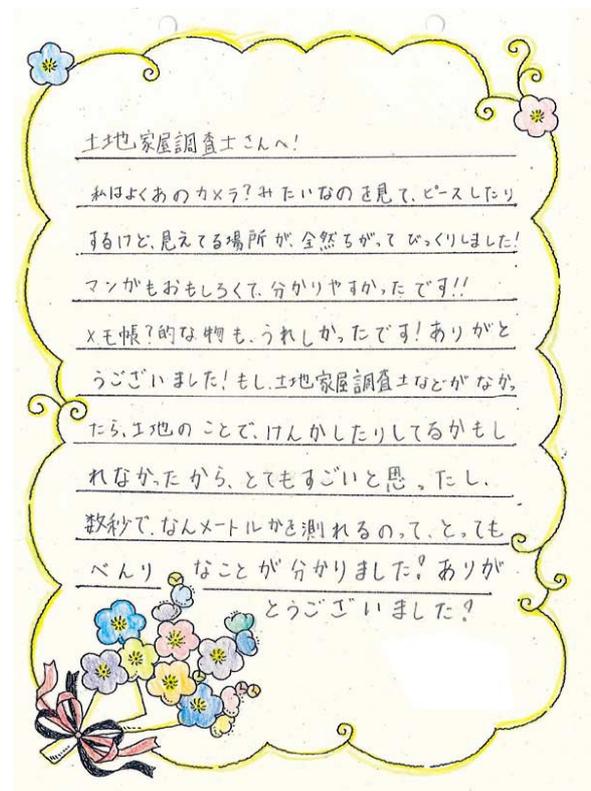
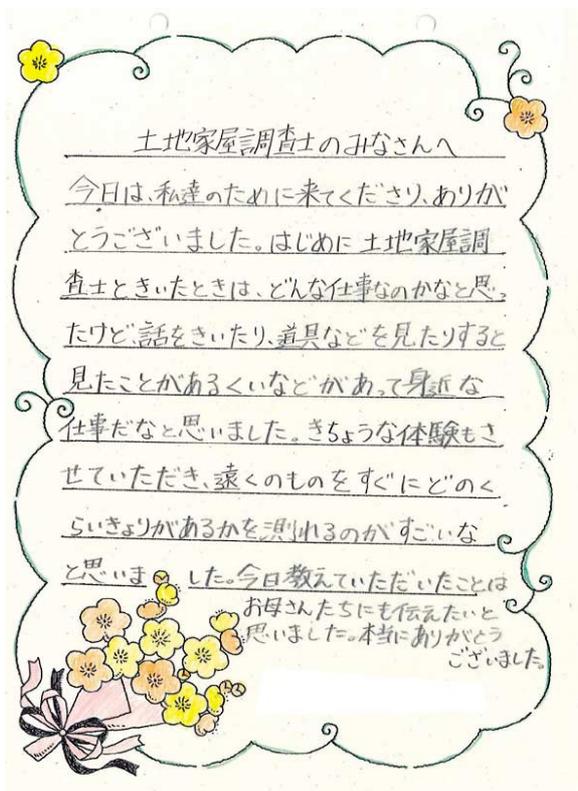
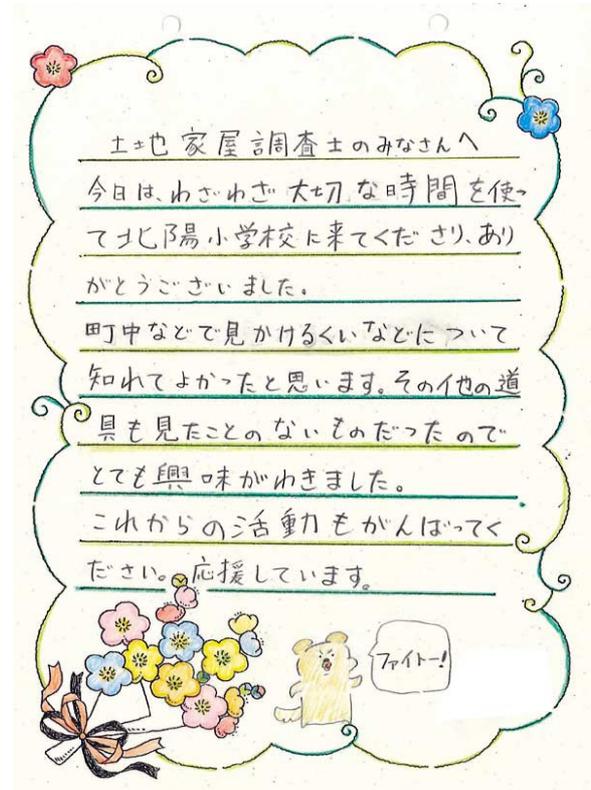
◆出前授業のまとめ

昨年に引き続き、長崎市立北陽小学校の6年生に出前授業を行いました。社会の授業で伊能忠敬のことを学んでいたようで、伊能忠敬が作成した日本地図の説明を初柴先生にして頂き、現代の測量はどのようにしているかを土地家屋調査士として説明しました。授業の最初に土地家屋調査士という仕事を聞いたことがあるか児童の皆さんに聞き、ひとりも知りませんでした。測量している人や境界標を見たことがある児童が多く、興味をもって聞いてもらえたと思います。実際に器械をさわって、覗いてもらい興味津々でした。

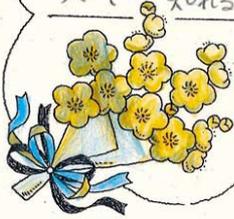
後日、校長先生よりお礼の文書と児童の皆さんから感想文を頂きました。

北陽小学校出前授業 感謝状

北陽小学校 6年生一同



今日は、おいそがしい中、私たちに、土地
家屋調査士会のことについて、教えに来てく
たさ、り、あ、り、か、と、う、ご、さ、い、ま、し、た。私、は、み、な
さんのお話を聞いて、一見かんたんに見える
けど、資格を得たりすることが大変だと
知り、まさに、緑の下のカ持ちだなと思いま
した。私たちは、土地家屋調査士さんたち
のおかげで今の生活があるなと思
いました。土地のことやみなさんのこと
について、知れることができてよかったです。



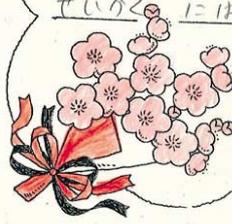
土地家屋調査士の皆さんへ
今日は土地家屋調査士のこと
を教えてくださいありがとうございます
います。ぼくは、あの杭の意味を
最初は知らなかったけど、今日の出前
授業で杭の意味や土地家屋調査
士の難しさを知りました。家に帰っ
たら、土地家屋調査士の事を家族
に教えたいと思います。今日は本当に
ありがとうごさ、い、ま、し、た。



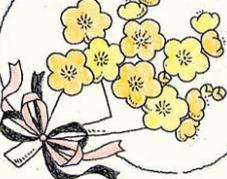
土地家屋調査士さんへ
今回はおいそがしい中ここまで
足をはこんでくださりありがとう
ごさ、い、ま、し、た。
カメラみたいな物でどのくらいの
長さをはかるのは楽しかったし、き
うな体験ができました。
こういう仕事があるのを始めて知
り、そしてきうかい線はトンカチを使、て、う、め、
て、い、た、の、だ、な、と、思、い、ま、し、た。



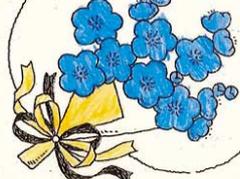
みなさん今日はおいそがしいな来てくれて
ありがとうございます。今回は初めて知った
仕事土地家屋調査士について教えてい
ていただきましたが、意外と、み、近、に、その、仕事、の
お、ど、ろ、が、あ、つ、た、ん、だ、と、知、り、ま、し、た。そ、し、て、その、
仕事は人の大事なことを決めることも知
りました。この仕事はぼくたちを支える
様になっているのを感じました。体けんではと
太くはなれたたてもの窓が見える長とも
せい、く、に、は、か、ら、て、い、て、ま、ど、ろ、き、ま、し、た。



今日はおいそがしい中、わざわざ
 来てくださり、ありがとうございました。
 私は最初、土地家屋調査士とはどうい
 うお仕事とか、こんなお仕事があることを
 知りませんでした。でもお話を聞くうちに
 よく見かけるくらいに関わる仕事なん
 だと思いました。カメラみたいなので、
 何をしているのか、最初は分からなかつた
 けど、距離をはかりたりしていることが
 分かって、とても大事な仕事だなと
 感じました。



土地家屋調査士会のみなさんへ
 今日は、おいそがしい中、来ていただき
 ありがとうございます。
 最初、ぼくは、土地家屋調査士のことを
 知らなかったけど、境界糸泉や、この仕
 事のことを深く知れてよかったです。
 心に残ったのは最後の何んとかを計る
 機械で、あんな簡単に言われるんだ
 なと思いました。
 お体に気をつけてがんばってください



土地家屋調査士さんへ
 今日はおいそがしい中、来てくださって
 ありがとうございます。
 野中でよく見るくらいについて知れてう
 れしかったです。カメラみたいなもので200m
 以上見えて正確なまわりでびっくりしました。
 ボタンを回すと上下左右に動いていてカ
 メラみたいなもののしくみが分かって
 興味が湧きました。土地家屋調査士の人
 はなにを、するのとも知れて、きょうな
 体験をさせてくださり
 ありがとうございます。



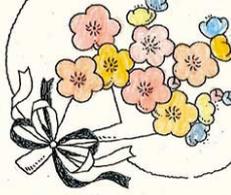
土地家屋調査士のみなさんへ
 今日はおいそがしいなか来てくだ
 さいありがとうございます。
 私は話をきいて土地家屋調査士
 の仕事は、さいし、は分からなかったけど
 話をきいたらなにをする仕事かが
 分かりました。私はカメラみたいなやつ
 をみてみて、どんなふうに見えるのか分か
 らなかったけど、実際にみてみたら、こんな
 ふうに見えることが分かりました。
 今日は本当にありがとう
 ございました。



今日は来てくださりありがとうございました。
また、ぼくは、おもしろいと思いつながら来
ました。せんせん、いろいろな仕事を
おしえてくださって、しかも体験をさせ
ていただきました。土地や家の境
界はみなさんのおかげで、けんか
とかをなくしたりしているの
で、ありがたいと思いました。日常
でも、測量しているときは、おまに
らから、にしたいです。



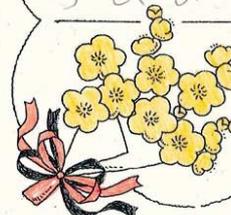
土地家屋調査士さんへ
ぼくはカメラみたいなので
ものを見たり、レーザービームの
ようなものを出して、そのままでのきり
を予想したりするのが、楽しか
たです。土地家屋調査士さん
が、つかっている道具ややり方
などを、知ったときは、おもしろ
い、おもしろいと思いました。今日は
ありがとうございました。



土地家屋調査士さんへ
今日の出前授業は、最初は
名前を聞いたことあるだけで、あ
まり分からなかったけど、話を聞く
につれてこの仕事のすごさが分
かってきました。特にカメラのよ
うなものを実際にさわってみて
とてもおもしろかったです。これが
土地関係に役立つと思っ
たら、改めてすごいなと感じました。

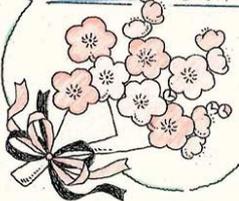


土地家屋調査士のみなさんへ
今日は、おもしろい中、来てく
ださい、ありがとうございました。最初は、あのカメラみた
いなものを、動画で見て、「何の
写真をとるのかな」と思っていた
けれど、話を聞いて、「きりを
はかるものなんだ」と思いました。おま
に、ミリ単位まで測れる、と教えて
らって、びっくりしました。



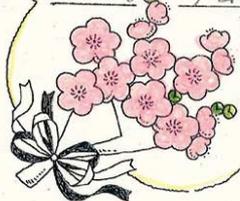
土地家屋調査士会のみねさんへ

今日は、おいきがしいなが、来てくださって
 ありがとうございます。私は土地家屋調査士
 のことも知らなかったし、くさみたの？の役割
 も知らなかったけど、今日の午前授業で土地家屋
 調査士についていろいろ知ることができて
 よかったです。カメラみたの？は、機械が、ぶり
 まどはがって、びくりにました。学校の前で
 カメラみたの？を見ている人がいるけど、同じことをしている
 人って、思いました。

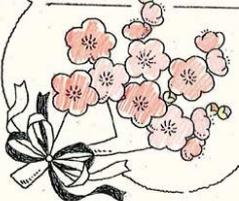


今日は、おいきがしい中、ぼく
 たちに土地家屋調査士のことを
 を教えてくださり、ありがとうございます
 いました。

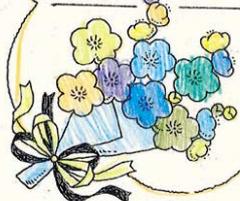
ぼくは、この仕事を今日知って、い
 ろいろな仕事をしていることを知
 りました。ぼくが一番心に残って
 いる事は測量のカメラです。1mm
 のくらいまで矢印することにおどろき
 ました。今日は、貴重な経験
 をさせてくださり、
 ありがとうございます
 ました。



今日はおいきがしいなが来てくださりありが
 とうございました。向メトルが測る機械を
 実物に使ってみてはじめて数字
 が出るんだなと思てすごいと思いまし
 た。コンクリートにうまていくをよ
 く見かけるけどそこまで気には見ていな
 かったからものと気には見てみよう
 と思いました。今日はいろいろとおしえてく
 てください、ありがとうございます。



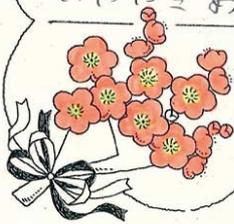
私は最初土地家屋士でなんだろう
 と思っていたけど今日の授業で、
 道でよくみつけるくいしょうたいが
 分かったり、コンクリートにはドリルで穴
 をあけてボンドでくいをつけたり、
 土だったらおおいハンマーでうけた
 りするというのが分かりました。
 機械がいの中をのぞくのが私は
 一番楽しかったです。今日はきて
 くださってありがとう
 ございました。



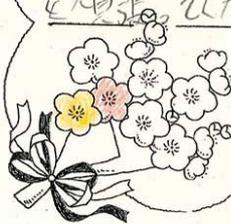
今日は、土地家屋調査士のお仕事を
孝父えていただきありがとう
ございました。

測量をどうやってやるかと実際に測
量をする時の機械を使ってみて
糸田かな事も測っていたのです
ごいせん糸田で難しいお仕事
だと思いました。

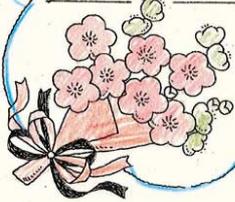
すごい貴重な体験をさせて
いただきありがとうございました。
ました。



今日はおいそがしい中來ひだされ
ありがとうございました。土地
家屋調査士は、ぼくたちの生活に
関与しているとは全く思いま
せんでした。でもぼくたちが家を建
てるには、土地家屋調査士のみ
たんの力が必要だと知らせて
おかげを感じました。これからお仕事を
頑張ってください。



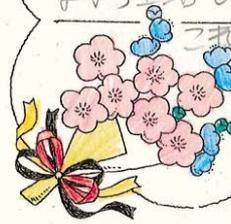
今日は北陽小に来てくださりありがとう
ございました。私が思ったことは、あんまり
土地家屋調査士の仕事か知らなかつたの
で今日のことをお母さんやお父さんに教えてあげ
たいなと思いました。たまに道路の標に
くいしたいなのがいまうめている時があつて今までは、
それがあつた意味が分からなかつたけど今日の
授業できまりをはかて土地のことなんだ
なと思つたのでこれからくいを見つけ
たときは、もっとちゃんと見てみたいなと思つた。



今日はお忙しい中、ぼく達に指
導していただきありがとうございました。
ぼくは身近にある物が人の生活
を左右する様な物だと知つた
時にとてもおどろきました。

さらに、これまで全く知らなかつた土地
家屋調査士とはどういう仕事か
が分つたのでその作業をしているに日々感謝し
ながら生活したいです。

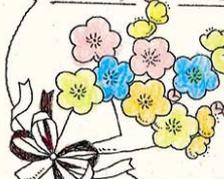
これからもおかえはつて下さい。



本日はお忙しい中、北陽小学校
 に来ていただきありがとうございます。
 私は土地家屋調査士のことをあまり
 知らなくて始めての土下時土地
 家屋調査士がすることは、人の財産に関
 関わる仕事でとても重要なことな
 と思います。体験会とかはじめて下さ
 りありがとうございます。これからお存
 じをつけてお仕事をつづけたくです。
 本日は本当にありがとうございます。



今日は北陽小学校に来てくだ
 さり、ありがとうございます。ぼく
 は、車に乗る時、望遠鏡みた
 いののを使っている人がいて、ど
 んな人だろうと思っていたが、今日
 実際に使えて良かったです。お父
 さんが測量士をやって、現場
 ぶどうが...みたいな事をいって、
 どういう意味の人だろうと思っ
 けど、今日はそういう事に又も教
 えてくれたから、やっぱり凄
 いかか、かこいになって
 思いました。



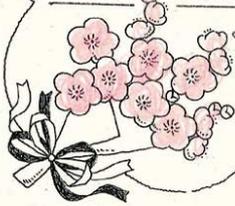
今日はお忙しい中来ていただき、あり
 ありがとうございます。最初聞いたとき、
 土地家屋調査士、って何? と思っ
 ました。少し身になってネットで前
 調べしてみると、今日お話しして
 いただいたことと同じ
 でした。みんなが分かりやすく教
 えてくれたのでとても良かったです。
 最後、体験したときにこの仕事は
 すごく大変でお客様の意見も聞
 いてやらなきゃだめから、やるこ
 とがたいてい私には難しいなと思
 いました。これからがんばってたく
 です。



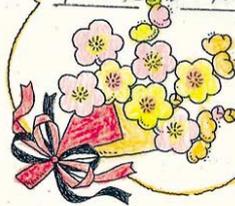
今日はおいそがしい中北陽小学校に
 来ていただきありがとうございます。
 私は土地家屋調査士と聞いて何も分
 かりませんが、今日、出前授業をう
 けて、とても大切な役割というこ
 とが分かりました。この仕事か
 ないといけないことあると学んで
 このことをもっと多くの人に知
 ってほしいと思いました。ずい
 ぶん疑問に思っていたことも
 知ることができてよかったです。
 私は将来家を建てる時、土地家
 屋調査士の方々に感謝して建
 てるつもりです。



今日は、土地家屋調査士について
学んでとても良い勉強になりました。
私が一番心に残ったのは、じさいに測量など
で使われている機械にふれられたこと
です。工事現場などでよく見かけるけど、
何をしているのか知りませんでした。でも、
今日の授業でmmはんまで正確に
はかれることができるとしてすごいと
思いました。くいなどもよく道ばたで
みかたりもするので、今度みかたりら、
よく見てみようと思いました。



土地家屋調査のことにつ
いて、教えてくれてありがとうございます。
います。きりを測るのに、機械
をつかって測量するということは
初めて知って、もっと知りたくなりました。
その機械で実際に測量
してみても、ミリ単位まで、正確に
測れて、すごい機械だと思
いました。土地家屋調査のやりか
や工夫が知れて、初めて知る
ことが多くて、おど
ろきました。



今日はおいそがしい中、測量のことにつ
いて、ていぬいに教えてくださりあり
がとうございました。あまり聞いたことが
ない仕事だから、初めて知ることが
多かったです。アスファルトの上のくいは見
たことがあるので、どこにどんないがあるの
かを探してみたいと思います。土地家
屋調査士の方々は測量だけでなく、人
のつながりも守ってくださっていることが
分かりました。これからがんばってください



今日は、土地家屋調査士について教えてく
たさうございました。私は今日の
学習で、昔から検地や地租改正などの土
地を測ることが行われてきたことや、測
量の方法などが心に残りました。土地は
お金のように大切なもので、それをあまた
判断で決めてしまわないように、土地家
屋調査士があると思いました。なじみのない仕
事だけど、私達のために普段からがんば
ってくださいありがとうございます。これからも
お仕事をがんばってください





長崎県土地家屋調査士会 会長

山口 賢一 氏

◎出身校

佐世保西高校、九州工業大学工学部

◎2026年の目標を漢字一文字で

「信」より信頼ある資格者団体を目指し、歩み続けたい

◎趣味

神社仏閣巡り



いざはや灯りファンタジアの様子

測量技術を活かし社会に貢献

私たち土地家屋調査士は土地や建物の登記申請手続きを代理で行ったり、土地の境界を確定させたりする業務を通して、依頼者の貴重な財産を将来にわたって安心・安全に守るのが仕事です。災害復興でも私たちが担う役割は少なくありません。法務局の地図作成事業はその一つで、衛星データなどを活用しながら精度の高い地図を制作中です。この地図があると、災害で崩れてしまった土地の境界を復

元させることが可能で、復興の足掛かりになります。また、長崎県をはじめとする各自治体と災害復興支援協定を締結。災害発生時に土地・建物に関する相談に応じたり、罹災(りさい)証明書の発行を支援したりする体制を整えています。

このように土地家屋調査士は社会貢献度の高い仕事ですが、他工業と比べると認知度が低く、若者の成り手が少ないのが課題です。現在、県内

の小・中・高校で出前授業を行い、実際の測量機器に触れる体験や、運動場の広さを測る授業を通して、仕事の面白さを感じてもらおうPRを続けています。近年の測量はドローンや3Dレーザースキャナーなどを多用するため、最新技術が好きなお子にも興味を持ってもらえるのではないのでしょうか。金融機関では不動産取引での知識向上の手助けになるような研修会も開催。6年前からは諫早支部を中心

に、「いざはや灯りファンタジア」に協賛しています。灯明地上絵の復元作業に協力しており、私たちの測量技術を地域のイベントに活用しています。今後もこうした地域貢献を積極的に行い、県民の皆さまに信頼される団体を目指していきたいです。



長崎県土地家屋調査士会

長崎県土地家屋調査士会
長崎市桜町7-6-101
TEL(095)828-0009





長崎工業高等学校出前授業

長崎支部 松尾 剛

場 所：長崎工業高校

日 時：令和8年2月4日(水)

10時～12時40分（2～4時限）

天 候：晴れ

参加者：調査士会広報部 大塚進作(部員)、
長崎支部 松尾剛、後藤祐樹(副支部長)、
森直明(会計)、石橋一浩(幹事)、
釘本正紀(幹事)、池田剛(会員)、
中野亮(会員)

長崎工業高校にて所定の日時に出前授業を行いましたのでご報告致します。

2時限目は、建築科教諭の中村先生より土地家屋調査士の仕事についてご紹介をしていただき、長崎支部の松尾剛がご挨拶を致しました。

まず、長崎支部の池田剛会員が講義を行いました。長崎工業高校建築科のOBであり、自身の高校時代の話から、土地家屋調査士の仕事について、建築と土木の違い、土地の制度の歴史について説明をしました。昭和初期の分筆申告図や住宅の写真のなどを各生徒にまわし、見てもらいました。建築科OBということもあり、生徒の皆さんは熱心に聞きっていました。

3時限目は、長崎支部の松尾剛が、土地

家屋調査士の仕事と、家を建てるところまでの建築との関わり方を説明しました。法務局備付の長崎工業高校の登記記録、建物図面を見てもらい、登記記録に関心をもってもらうことができました。また、連合会のホームページの土地家屋調査士紹介動画を視聴し、土地家屋調査士の一日がどんなものか見てもらいました。

次に長崎工業建築科OBである大塚進作広報部員と長崎支部の中野亮会員より土地家屋調査士になった経緯や土地家屋調査士の仕事内容などについて紹介してもらいました。

4時限目は運動場に出て屋外実習を行いました。

4班各10名に分かれ、トータルステーション、一素子プリズムの据え方、のぞき方、ミニプリズムの立て方などを実際にしてもらい、その後歩測による距離当てゲームなど測量を身近に感じてもらえるような実習となりました。実際に器械をのぞいて、距離を当てゲームをすることにより楽しく学んでもらうことができたと思います。

最後に調査士会を代表して長崎支部の松尾剛より生徒の皆さんに挨拶をして、出前授業は終了致しました。生徒の代表者からお礼の言葉を頂きました。

始めは、土地家屋調査士という仕事を知

らない生徒ばかりでしたが、2時間の座学で大まかな仕事内容を理解してもらえたと思いますし、最後の野外実習で仲間と共に楽しく学んでもらえたと思います。OBも

二人参加したこともあり、土地家屋調査士という仕事に興味をもってもらえたと思います。

2時限目の様子



3時限目の様子



4時限目の様子





金融機関への研修会

広報部 井村 卓司

金融機関との連携強化を目指して、去る令和8年2月20日(金)、本年度の外部機関への啓発活動として、十八親和銀行長崎ライフプランセンターにおいて土地家屋調査士業務の紹介および研修会を実施いたしました。

本活動は、例年土地家屋調査士の業務内容や本会の活動を広く知っていただくPRの一環として行っているものです。当日は同行の行員の方々にご参加いただき、実務に直結する活発な交流の場となりました。

冒頭、峰副会長より土地家屋調査士制度が76年目を迎えたことに触れ、日頃の関わりや円滑な運営への御礼と協力について挨拶がありました。



続く講義では、本田広報部部長より、土地・建物の登記に関する基礎知識から、売

買に欠かせない境界確認、道路宅地造成時の現況測量まで、多岐にわたる業務全般を解説しました。また、紛争解決のための筆界特定制度やADRの役割についても説明をいたしました。配布資料の地積測量図や建物図面のサンプルの説明では、参加者が熱心にメモを書き込む姿が印象的でした。



後半は石田広報部次長が講師を務め、写真付きの事例資料を用いて登記の判断基準を具体的に解説しました。建物認定における「定着性」「外気分断性」「用途性」「人貨滞留性」の4要素について、日々我々が実務で直面する現場視点の判断ポイントを詳説。銀行融資の可否にも関わる重要なテーマということもあり、行員の皆様は深く頷きながら聴講されていました。



予定の1時間はあっという間に過ぎ、全体としてやや時間が不足するほどの盛況ぶりでした。業務と直結する内容であったことから、受講者の皆様の関心の高さを改めて実感する機会となりました。広報部としては、充実した啓発活動を継続してまいります。

最後の質疑応答では、実際の取引案件や筆界未定地の取り扱いなど、現場担当者ならではの専門的な質問が相次ぎ、一つひとつ丁寧に回答いたしました。



土地家屋調査士会に入会して

佐世保支部 柳 武 将 光

入会：令和7年7月1日

令和7年7月1日付で、長崎県土地家屋調査士会佐世保支部に入会いたしました、柳武将光と申します。

佐世保工業高校建築科に在学中は野球部に所属し、厳しい練習の日々を過ごしました。「まだやれる」と自分を奮い立たせた経験は、今の私の基盤となっています。友人たちは「あの頃には戻りたくない」と口をそろえますが、私にとっては、あの努力の積み重ねがあったからこそ、今の自分があります。

調査士として働き始めてからは、夏場の強い日差し、舗装されたコンクリートからの照り返し、ほぼ登山に近い急傾斜の現場など、過酷な環境での測量も経験しました。学生時代の練習で培った粘り強さが、このような現場でも自分を支える力になっています。

野球しか知らなかった私ですが、調査士事務所に就職し「土地家屋調査士」という職業を知りました。最初は「そんな資格・仕事があるのか」と思った程度でしたが、補助者として佐世保市の地籍調査に参加す

る中で、多くの調査士の先生方と接する中で、仕事のやりがいや人とのつながりの大切さを知りました。現場での豊富な知識と、柔軟で的確なコミュニケーション能力に触れ、次第に「自分もこの道を歩みたい」と強く思うようになり、調査士への挑戦を決意しました。

資格勉強中は、同世代である羽生結弦選手、高木美帆選手、大谷翔平選手、鈴木誠也選手などが活躍するニュースを見るたびに劣等感を覚えましたが、自分を奮い立たせる原動力に変え、勉強に打ち込みました。そして、家族や事務所の皆さまの支えもあり、令和4年度の試験に合格することができました。

一人の土地家屋調査士として、まだ知識やスキルに不足を感じることもあります。しかし、お客様からの「ありがとうございました」の一言が、何よりの励みです。これからも学びを重ね、地域の皆さまのお役に立てる調査士を目指してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いたします。



土地家屋調査士会に入会して

佐世保支部 片 瀨 啓 二

入会：令和7年7月1日

このたび長崎県土地家屋調査士会に入会いたしました佐世保支部の片瀨啓二と申します。

現在41歳です。どうぞよろしく願いいたします。

私は佐世保工業高校電子機械科を卒業後、九州産業大学機械工学科に進み、主に機械関係を専門に学んでまいりました。前職では化学・発電プラント向けの圧力容器や産業機械、造船ブロックの製造に携わってまいりました。顧客対応をはじめ、安全・品質・工程・コスト管理などを担当し、製造現場と社内外の関係者をつなぐ役割を担っておりました。ものづくりの現場で、正確さや責任の重要性を学んできたことは、現在の業務にも通じるものがあると感じております。

私が土地家屋調査士を志したきっかけは、代々所有している不動産の管理に関わったことでした。これまで不動産の管理は、私が現在勤務している会社の社長にお願いし、主に父が中心となって対応してまいりましたが、父の高齢をきっかけに私も打合せ等に同席するようになりました。その頃、取

引とは別に、自宅周辺の道路に関して近隣住民の方々との間で境界を巡る話し合いが生じたことがありました。対応に悩む中で、その内容を社長に相談いたしました。

相談にあたり、現地写真に線を引いた資料を自ら作成して準備していたところ、その資料をご覧になった社長からお声がけをいただいたことが、土地家屋調査士という職業を知るきっかけとなりました。当時、不動産を管理していくため、専門的に学びたいと考え始めていた時期でもあり、この仕事に強い関心を持つようになりました。

その後、現在の会社への転職を決意。測量の分野は専門外であったため、指導を受けながら測量実務の経験を積み、まずは測量士補の資格を取得しました。その後も約2年間、周囲の方々に支えていただきながら学びと経験を重ね、令和6年度土地家屋調査士試験に合格することができました。

まだまだ勉強の日々ではございますが、前職で培った調整力や責任感を活かし、誠実な業務を心がけてまいります。諸先輩方にはご指導・ご鞭撻を賜ることも多いかと思いますが、何卒よろしく願いいたします。

◀ 編集後記 ▶

広報部次長 石田 浩太郎

2月20日、十八親和銀行ライフプランセンターにおいて「表示登記の概要と注意点について」の伝達を通じ、啓発活動をさせていただきます。詳細は井村広報部員の報告書に記載しておりますので是非ご覧ください。

当初は新人行員への研修みたいなもの、と聞かされていたので、学校あがったばかりの銀行員の方々に基本的なことをお伝えするだけじゃん、と気楽な気持ちで臨んでいました。ところが入室してくる行員は30代、40代、50代と脂ののった方たち10数名で居眠りする人も皆無で、逆に質問時間を過ぎて個別に質問いただくほど熱心に取り組んでいただき感動いたしました。

また、自分のことを省みれば、大人数を前にして話をするなんて経験がなかったため、緊張感の中、顔を強張らせながらの伝達で与えられた時間内に全ての範囲を終了することができませんでした。事前に何度も時間を計りながら練習をしたのと、多くを前にして緊張の中での本番は違うということを経験し、この反省をこれからに生かしていきたいです。

新地中華街のすぐそばが十八親和銀行ライフプランセンターだったこともあり開催中のランタンフェスティバルに翌日行きました。会場での催し物は何度も見ているので、細かい関連施設をくまなく回ることにしました。路面電車は何度か乗ったことはあるのですが、石橋まで行くのは初めてで、かつ満員、また満員の電車でなかなか乗れず、肝心の乗り換えが必要なことも知らず列の後方で並んでいました。石橋ゆきは来ないなぁと思いながら列が進んでいき、ホームの路線図を見てやっと理解しました。数分で着くはずの石橋へ1時間以上かけて到着でき、これもまた良い経験ができました。

次号の会報ながさき82号は、広報部として2年目、更に気を引き締めて取り組みたいと思います。会員の皆様には原稿依頼、取材等のご協力をお願い申し上げます。また、取り上げてほしいテーマや取材先などの要望や情報などございましたらお知らせください。



RS10

ハンディSLAM 3Dレーザースキャナー+ GNSS RTKシステム

CHCNAV

点群平面図作成CAD



ANIST

-アニスト-

ボールド点群テクノロジー
[Balled Point Cloud Technology]

AISAN
TECHNOLOGY CO., LTD.



現地で気軽に点群取得



点群を見ながら作図/編集

点群取得から図面作成が速くなる最強の組み合わせ！



ワンマンータルステーション
ドローン・SLAM・点群編集ソフト
各種ご提案させていただきます
業務効率化 生産性向上
お手伝いいたします



株式会社水上洋行 <https://nizukani-abroad.co.jp>

本社：福岡・北九州・久留米・熊本・佐賀・佐世保・長崎

長崎営業所

〒852-8034 長崎県長崎市城栄町10-10

TEL：095-844-4308 FAX：095-844-4203

国民年金基金 のご案内

— 不確実な将来に、今、備える —



国民年金加入者（第1号被保険者）の年金給付は、
厚生年金加入者（第2号被保険者）と比べ一般的に少なく、
人生100年時代に向けて一層の自助努力が求められています。

● 国民年金基金とは

法律（国民年金法）に基づき、国民年金（老齢基礎年金）に上乗せする積立方式の
「公的な年金制度」です。

国民年金基金のおすすめポイント ～税優遇を活かして老後に備える～

1 税制上の優遇措置

掛金 掛金は**全額社会保険料控除**の対象となり**所得税、住民税が軽減**されます。
(掛金上限額(816,000円/年)まで控除対象)

年金 受け取る年金にも**公的年金等控除**が適用されます。

遺族一時金 遺族一時金は全額が**非課税**となります。

2 生涯にわたる給付

人生100年時代に向けた**「終身年金」**が基本です。

キャンペーン実施中!

1～3月ご加入の方に
クオカード1,000円進呈!

3 ご家族及び補助者の方も加入可能

同一生計のご家族の掛金も負担した方の社会保険料控除の対象となる税制面のメリットがあります。
補助者の方の雇用確保の観点でご活用されているケースもあります。

国民年金基金に加入できる方

- 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方

※基金掛金は年金額が同じなら年齢が若いほど低く設定され、加入後も変わりませんので、
お早めのご加入がお得となります!



お問い合わせは下記の基金事務所へどうぞ

全国国民年金基金 土地家屋調査士支部

お電話 **0120-137-533**

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-6-12 マグノリアビル2階

ポイント HP上でもシミュレーションや
加入申出のお手続きができます!



測量機器総合保険 (動産総合保険) のご案内

日本土地家屋調査士会連合会共済会 測量機器総合保険の特徴

「土地家屋調査士賠償責任保険」とは異なりますのでご注意ください。

会員が所有・管理する測量機器(製品No.のある機器に限る)について

**業務使用中、携行中、保管中等の
偶然な事故による損害に対し、
保険金をお支払いします。**

例えば

1

測量中誤って
測量機器を倒し壊れた。



2

保管中の測量機器が
火災にあい焼失した。



3

測量機器を事務所、自宅等
に保管中に盗難にあった。



等

● 個別にご加入されるよりも保険料が割安です。

保険金額200万円の年間保険料

測量機器総合保険(本制度): 30,000円

動産総合保険(個別加入) : 83,820円

**約64%
割安!**

● 免責金額はありません。

このチラシは動産総合保険の概要をご説明したものです。詳細はパンフレット等をご覧ください。
ご加入ご検討の方、パンフレットをご希望の方は桐栄サービスまたは三井住友海上までご連絡ください。

保険期間

2025年4月1日午後4時から2026年4月1日午後4時まで

※保険期間の中途での加入もできますので、ご希望の場合には桐栄サービスまでご連絡ください。

お問い合わせ先

日本土地家屋調査士会連合会共済会

取扱代理店

有限会社桐栄サービス

東京都千代田区神田三崎町1丁目2-10
土地家屋調査士会館6F
TEL 03(5282)5166

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課
東京都千代田区神田駿河台3-11-1
TEL 03(3259)6692

点字印刷・帳票・パンフ・チラシ・自叙伝・会報誌

印刷物のバリアフリー化を目指して！ 昭英印刷点字印刷事業部

自費出版のお手伝い・本づくりならおまかせください！ 昭英出版

点字印刷物・自費出版についての、ご質問・ご相談はお気軽にお問合わせ下さい

SHOUEI PRINTING CO., LTD

 **昭英印刷株式会社**

本社／工場 〒852-8117 長崎県長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231(代) FAX 095-847-7085
E:mail shouei@mx.b.cncm.ne.jp URL <http://www5.cncm.ne.jp/~shouei/>

令和 8 年 3 月 31 日 印刷
令和 8 年 3 月 31 日 発行
発行者 長崎市桜町7番6-101号
サンガーデン桜町1階
電話 (095)828-0009
長崎県土地家屋調査士会
会長 山口賢一
編集 広報部
印刷所 昭英印刷(有)